

V 資料

- 1 Smile 弘前子育てマスタープラン策定経過
- 2 弘前市子ども・子育て支援推進協議会設置要綱
- 3 Smile 弘前子育てマスタープラン策定会議設置要領
- 4 子育て中の親に対する「子育ての現状等調査」結果概要
- 5 弘前市世論調査～Smile 弘前子育てマスタープラン策定にあたって～結果概要
- 6 Smile 弘前子育てマスタープラン【概念図】

V 資料

1 Smile 弘前子育てマスタープラン策定経過

平成 22 年度	
10 月	弘前市子ども・子育て支援推進協議会設置
	子育て中の親に対する「子育ての現状等調査」実施 ○調査期間：平成 22 年 10 月 15 日～平成 22 年 10 月 30 日まで ○調査対象者：市内在住の乳児・幼児・小学生・中学生・高校生の子育てをしている親 ○回収結果：調査対象者 1,424 人 回答者 865 人 回収率 60.7% ○設問内容：子育てに関する悩みや意見、要望等に関する設問を記述式のべ 5 問
12 月	第 1 回弘前市子ども・子育て支援推進協議会開催 ○Smile 弘前子育てマスタープランの策定について ○弘前市の合計特殊出生率と子育て関連施策の現状について ○子育て中の親に対する「子育ての現状等調査」について
1 月	第 1 回 Smile 弘前子育てマスタープラン策定会議(庁内会議)開催 ○Smile 弘前子育てマスタープランの策定について ○弘前市の合計特殊出生率と子育て関連施策の現状について ○子育て中の親に対する「子育ての現状等調査」について
	平成 22 年度弘前市世論調査～Smile 弘前子育てマスタープラン策定にあたって～実施 ○調査期間：平成 23 年 1 月 20 日～平成 23 年 2 月 2 日まで ○調査対象者：弘前市全域で住民基本台帳から 0 歳～18 歳までの子どもがいる世帯を無作為に抽出 ○回収結果：調査対象者 2,381 人 回答者 2,264 人 回収率 95.1% ○設問内容：子どもと子育てに関する設問を選択式 33 問、記述式 2 問
2 月	第 2 回弘前市子ども・子育て支援推進協議会開催 ○Smile 弘前子育てマスタープラン策定に係る意見について
平成 23 年度	
5 月	子育て中の親に対する「子育ての現状等調査」公表
6 月	平成 22 年度弘前市世論調査～Smile 弘前子育てマスタープラン策定にあたって～公表
	第 2 回 Smile 弘前子育てマスタープラン策定会議(庁内会議)開催 ○市民ニーズに基づく課題に対する対応について
7 月	第 3 回弘前市子ども・子育て支援推進協議会開催 ○Smile 弘前子育てマスタープラン(素案)について
8 月	パブリックコメント実施(8 月 1 日～8 月 26 日)
	子ども・子育て支援シンポジウム開催(8 月 27 日) ○基調講演「いま、子どもたちが危ない！子どもに笑顔を！」 ○座談会「弘前ならではの子育てを考える」
9 月	第 3 回 Smile 弘前子育てマスタープラン策定会議(庁内会議)開催 ○弘前市子ども・子育て支援推進協議会意見について ○パブリックコメントの結果について ○子ども・子育て支援シンポジウムの結果について
	第 4 回弘前市子ども・子育て支援推進協議会開催 ○Smile 弘前子育てマスタープラン(最終案)について
10 月	市長決裁により Smile 弘前子育てマスタープラン策定

2 弘前市子ども・子育て支援推進協議会設置要綱

(目的)

第1条 安心して子どもを産み、そして元気に育てることができ、子どもたちの笑顔があふれる弘前の実現に向けた「Smile 弘前子育てマスタープラン」の策定にあたり、弘前市での子育てに関する問題点、課題、市民ニーズ等の現状把握と、取り組みの基本的な方向性などについての協議、意見交換をするとともに、次世代育成支援対策推進法（平成15年7月16日法律第120号）に基づく次世代育成支援対策に係る行動計画（以下「行動計画」という。）の策定及び施策の推進についての検討・協議をするため、弘前市子ども・子育て支援推進協議会（以下「推進協議会」という。）を設置する。

(討議事項)

第2条 推進協議会において検討及び協議する事項は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) Smile 弘前子育てマスタープラン策定に関する事。
- (2) 行動計画策定に関する事。
- (3) 次世代育成支援に係る具体的施策の推進に関する事。
- (4) 行動計画の進捗状況の把握及び施策の評価に関する事。
- (5) その他子育て環境の整備に関して必要な事項

(組織)

第3条 推進協議会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年間とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第4条 推進協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、推進協議会を代表する。
- 4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する職務代理人が、その職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、必要に応じて会長が招集する。

- 2 会長は、会議の座長となる。
- 3 座長は、必要に応じて委員以外の者を会議に出席させて、意見又は説明を求めることができる。

(事務局)

第6条 会議の事務局は、健康福祉部子育て支援課に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成22年10月6日から施行する。
- 2 第5条の規定にかかわらず、第1回の会議は市長が招集する。

弘前市子ども・子育て支援推進協議会 委員名簿 (別表)

No.	機 関 等 名	委員氏名
1	中南地域県民局地域健康福祉部こども相談総室	前田 俊一 <small>まえだ しゅんいち</small>
		※第2回協議会まで 松井 春夫 <small>まつい はるお</small>
2	弘前警察署生活安全課	長谷川 美穂子 <small>はせがわ みほこ</small>
		※第2回協議会まで 斎藤 富美子 <small>さいとう ふみこ</small>
3	弘前市保育研究会	外川 きさ <small>そとかわ きさ</small>
		※第2回協議会まで 中村 潤子 <small>なかつら じゅんこ</small>
4	弘前私立幼稚園連合会	大森 幸子 <small>おおもり ゆきこ</small>
5	弘前地区小学校長会	安藤 智史 <small>あんどう ともみ</small>
		※第2回協議会まで 石戸谷 眞一 <small>いしどや しんいち</small>
6	弘前地区中学校長会	柳町 誠也 <small>やなぎまち せいや</small>
7	弘前大清水学園	晴山 靖雄 <small>はれやま のぶお</small>
8	弘前市社会福祉協議会	島 浩之 <small>しま ひろゆき</small>
9	弘前商工会議所	三上 美知子 <small>みかみ みちこ</small>
10	弘前青年会議所	斉藤 勇太 <small>さいとう ゆうた</small>
11	主任児童委員	三上 章子 <small>みかみ しょうこ</small>
12	弘前市町会連合会青少年育成委員会	虹川 士 <small>あなかわ つかさ</small>
		※第2回協議会まで 月永 寛 <small>つきなが ひろし</small>
13	弘前市子育て支援員連絡協議会	中道 幸子 <small>なかつち きちこ</small>
14	弘前市子どもを守る環境浄化市民会議	小田桐 忠志 <small>おだぎり ただし</small>
15	弘前市母子寡婦福祉会	對馬 しのぶ <small>つしま しのみ</small>
16	弘前地区私立幼稚園PTA連合会	三浦 眞介 <small>みうら しんかい</small>
17	弘前市連合父母と教師の会	清野 秀美 <small>せいの ひでみ</small>
18	弘前市医師会	蓮尾 豊 <small>はすお ゆたか</small>
19	津軽地区労働者福祉協議会	赤間 義典 <small>あかま よしのり</small>
20	学識経験者(弘前大学大学院地域社会研究科科長)	佐藤 三三 <small>さとう さんぞう</small>
21	公募委員	竹中 哲子 <small>たけなか てつこ</small>
22	公募委員	高木 恵美子 <small>たかぎ えみこ</small>
23	公募委員	吉山 剛弘 <small>こやま たけひろ</small>
24	公募委員	まつ尾 泉 <small>まつお いずみ</small>
25	公募委員	川村 加奈子 <small>かわむら かなこ</small>

3 Smile 弘前子育てマスタープラン策定会議設置要領

(目的)

第1 安心して子どもを産み、そして元気に育てることができ、子どもたちの笑顔があふれる弘前の実現に向け、市長公約に基づく「Smile 弘前子育てマスタープラン」(以下「マスタープラン」という。)を策定するため、Smile 弘前子育てマスタープラン策定会議(以下「策定会議」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2 策定会議の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) マスタープランの策定
- (2) 弘前市における子どもに関わる具体的施策の検討
- (3) その他マスタープラン策定のため必要と認める事項

(組織)

第3 策定会議は、別表に掲げる課等の長をもって充てる。

- 2 策定会議に議長を置き、子育て支援課長をもって充てる。
- 3 議長は、策定会議を代表し、会務を総理する。
- 4 議長に事故あるとき、又は不在のときは、あらかじめ議長が指名した者が、その職務を代理する。

(会議の招集)

第4 策定会議は、必要に応じて開催する。

- 2 策定会議は、議長が招集し、これを主宰する。
- 3 議長は、第1の目的を達成するため必要と認めるときは、第3に規定する職員以外の者を会議に出席させることができる。

(庶務)

第5 策定会議の庶務は、子育て支援課において処理する。

(その他)

第6 この要領に定めるもののほか、策定会議の運営に関し必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この要領は、平成23年1月5日から施行する。

附 則

この要領は、平成23年5月23日から施行する。

【別表（第3関係）】

No.	部等の名称	課等の名称	組 織
1	市民環境部	市民生活課	
2	健康福祉部	福祉総務課	
3		子育て支援課	議 長
4		健康推進課	
5	商工観光部	商工労政課	
6		公園緑地課	
7	教育委員会	教育総務課	
8		学務課	
9		指導課	
10		生涯学習課	
11		保健体育課	

4 子育て中の親に対する「子育ての現状等調査」結果概要

(1) 弘前市（地域・家庭）での子育てに関する問題・課題、現在不安に思っていること、または困っていること、及びその理由について

※ テーマ別に、回答の件数と内容を掲載しています。

回答内容は、同様の内容のものが複数ある場合は、代表的な回答のみを掲載し、できるだけ異なる内容の回答を掲載しています。

《経済的負担について：231件》

- ◆経済的不安は常にある。所得で保育費が違ったり、所得が低いと子どもの医療費無料とあるが、所得のみで判断して欲しくない。子どもの人数やその家庭の状況（生活）もある。我が家は所得が一般より高いとみなされているが、親の援助もなく、逆に親に援助しているので大変である。
- ◆保育料が高くてつらい。3人目以降を安くするだけでなく、第一子、第二子にも援助して欲しい。
- ◆一番気になっているのは保育料のあり方で、子育てしているが、1人だけ保育園に入るようになれば（2人目は小学生なので）負担が増え、困っている。
- ◆幼稚園の保育料の負担が大きいので、もう少し手当が出ればいいなあと思います。
- ◆小学生までは医療費を2割にさせていただきたいです。保育園の頃よりは病院にかかる回数は減りましたが、それでもまだまだ月に何度も行ったりするので是非考えて欲しいです。
- ◆経済的にとても厳しく、病気になると医療費もかかるし、毎年冬になるとインフルエンザ、年頃だから受けさせたいおたふくなどの予防接種などもなかなか受けられません。将来、修学旅行の費用や、さまざまな行事に関わる費用も心配ですし、習い事などもさせたくても余裕がなく子どもにさびしい思いをさせている気がします。
- ◆子育て支援など小さい子どもに対する補助金はあるようですが、ここまで子どもを育ててきて思うことは進学のこと。子どもが大きくなるにつれ、お金の額が大きくなるということです。逆に親は年をとり、働く場所がなくなり（雇ってもらえません）収入が少なくなっているので経済的にとても不安です。
- ◆部活動や講習に使う教材費等、授業料以外で結構お金がかかっているのに負担を感じている。
- ◆経済的な問題（低所得でありながら、通学費や学校の臨時集金もあったり、冬にはスキーなど強制的に買わなければいけない物もあったり・・・子どものためと思っても、月収が少ないと食べ盛りの子どもの食べるものすら与えられていない状況）。

《子どもの遊び場などについて：152件》

- ◆子どもが小さかった頃、子どもを安心して外で遊ばせることが出来ない事（公園なども人目がなく物騒で不審者がうろついたり、子どもだけで外に出すことはできない）。
- ◆近くに未就園児を遊ばせられる場所があればいいです。駐車場完備、できれば無料で…。児童センターの日中開放など希望します（もしかすると日中開放しているのかもしれませんが、情報が入ってきません。開放しているのであれば、もっとアピールしてほしいです）。冬場など外遊びができなくなると、体を動かす遊びがなかなかできません。走りまわれる場所があればいいです。
- ◆雨が降ったときなどに、小さい子どもが思いっきり遊べる室内での遊び場などがほとんどないこと。公園の設備が悪い。
- ◆岩木に限らずですが、遊具が少ない。危険だから取り外していると聞いているが、そんなに心配する必要はないのではないか。
- ◆休日でも開いている室内の子どもの遊び場が少ないように思います（たとえば青森市には、アピオおおもりやしあわせプラザに子どもを遊ばせる場所があります）。
- ◆同年代の子どもと遊ばせたいと思っているが、どこへ連れて行ってよいかわからない。また、近所（徒歩で行ける）にそのような場所があるのかどうか。

《地域での子育て・交流・イベント等について：68件》

- ◆子ども会的なところがなく、近所の子どもや親と接する機会がない。
- ◆親も今は年齢幅が広く、考えもまちまちなうえ、近隣との付き合いも昔と比べるとあまりなくなっているように感じます。育児について孤独感がある。自分の家の近くに同年代の子がいるのかもわからない。もっと地域の人たちと交流を持ちたい。
- ◆保育園に通わせていても親同士の交流が少ない。
- ◆仕事を理由に学校の委員会などの集まりになかなか出席できない。親同士の交流も持てたほうが、何かあったときにいいのかなとは思いますが…。
- ◆地域のいろんな方（世代問わず）交流したい。
- ◆近所の人たち同士の結びつきがあまりなく、お互いに無関心なような感じがします。
- ◆もう少し子ども同士で遊ぶイベントを増やしてほしい。

《学童保育について：62件》

- ◆学童保育が6時までのこと、共働きだと残業も出来ずにせめて保育所と同じ時間の6時半までにしてほしいです。お盆の学童の休みは大変、子どもだけがお盆休みで普通の会社は休みではありません。
- ◆曜日に関係なく、シフト制で仕事をしているので、休日に子どもを預けられなくて困っている。
- ◆なかよし会に入会できるのが3年生までというのには不安を感じています。4年生になったら長期の休みには子どもはずっと家にいることになり、何かあるかわかりません。せめて小学生のうちは大丈夫なようにしてほしいです。何かあってから親の責任といわれますが、どうしようもないこともあるので身近に考えて欲しいと思います。

《仕事と子育ての両立について：55件》

- ◆仕事をフルタイムでするとき、子どもの預け場所がなくまたお金がかかるため、仕事を休む機会が多くなり、子育てと仕事の両立はとても厳しいと思います。
- ◆不審者や若い女性が被害にあう事件が多発しているため、子どもが外で遊んだり登下校したり、一人での留守番をさせるのがこわい。そのため児童センターの時間に仕事の時間を合わせたことで、勤務日数も減らされ、収入も減ってしまった。他の仕事を探すにしても、17時半までに迎えに行くのが条件になるとなかなか仕事がない。
- ◆母親と子どもとは毎日話す時間、触れ合う時間はありますが、父親とは限られた時間（朝のみ）しか、一緒に過ごすことはできていません。父親と子どもの絆をもっと増やす場所をつくってほしい。
- ◆夫婦共働きのため、子どもと夜過ごす時間が少ない。時間にゆとりがないため、宿題をみたり、学校での話を半分にして聞いたり子どもに寂しい思いをさせている。
- ◆仕事と子育ての両立ができていないように思います。どちらも中途半端です。フルタイムで青森市へ通勤しているため、子どもと接する時間が少ないことも気になります。量ではなく質だと自分に言い聞かせどちらかという仕事優先でしています。

《学校・教育環境について：52件》

- ◆地域や学校により学力の差が大きい感じがする。現在のスポーツ少年団の体制だと、共働きの家庭は厳しいです。
- ◆小学校の部活動などの活動にもっと学校側も関わってよいのでは？あまりに保護者の協力がすぎると思う。
- ◆最近、中学校も荒れてきているので子どもが落ち着いた生活をしていけるのか気になっています。
- ◆子どもの人数が少ないため、保育所から中学校まで1クラスで良い点もあると思うが、友達との付き合いに少し不安を感じる。中学校の部活の数が少なすぎるため選べないことが困る。

《友達との付き合い方・いじめ等について：51件》

- ◆小学校低学年でいじめの軽い仲間はずれがあり不安。
- ◆中学生から弘前市に移ってきましたが、友達ができるか不安でした。また、一部の生徒が非行に走ったりしてクラスのまとまりがなかったり、いじめ等が心配でした。
- ◆地域の交流が少ないため、小学校へ入学した際の人間関係が心配。
- ◆保育園から中学校までずっと少数人数での学校であるため、あまり交流範囲がなく、高校になったときの学生生活に不安がある。
- ◆同じ学年の友達やセンターで一緒になる年上の子との付き合い方やいじめなど。特に上の子とは力の差もあるので不安に思います。
- ◆子供がいじめられたとき、親がどこまで踏み込んでいいのかわからない。

《安全・安心（防犯など）について：46件》

- ◆私が小学生の頃（30年前）は、外で遊んだり、友達と遊んだりしたのですが、実際娘を遊ばせたいと思っても、不審者がいたらどうしよう等、不安だけで安心して遊ばせてあげられません。
- ◆通学路で不審者に声をかけられたり、連れ去られたりのニュースを聞いたりすると、安心して通学できないので朝、夕の安全対策をしてほしい。
- ◆歩道の設備が不十分で通学時子どもたちが並んで歩いていると危ない。自転車での走行も不便を感じます。
- ◆子どもが部活で遅くなることがありますが、街灯が少なく、真っ暗です。帰ってくるまで不安です。

《子どもの育て方・しつけについて：39件》

- ◆子どもの育て方に自信がないときがある。あまり怒りすぎてもだめだし、怒らなすぎるのもだめなのかなと思ひ、ちょうど良くするのが難しい。
- ◆よい事と悪い事を適切に教えられているのか、自分を振り返りつつ努力中です。（しつけ面）共働きではあるが、工夫すればもう少し子どもに目や手をかけてあげられるとは思っている。工夫しなければと思いつつ、時間に追われるのを言い訳にしている。
- ◆子どもの育て方、しつけについて自信がない。何でも相談できる人がすぐそばにいないため、不安に思いひとりで悩んでしまうから。

《一時保育・病児病後児保育等について：31件》

- ◆パートとして働き始めたが、一時保育をしてくれる保育園がなかなか見つからない。一時保育事業をしていても、定員オーバーで断られたり（実際はあまり預かりたくないような旨を人づてに聞いた）、保育園によって、一時保育がかなり異なり、パート収入では正直きつい。
- ◆一時保育を行っている園が少ない。一時保育の斡旋を市で行って欲しくない。
- ◆幼稚園での預かり保育をもっと増やして欲しい（行事などが午前中で終了で、午後預かり保育を実施しないので、仕事の場合、子どもを預ける場所がなくなる、困る）。
- ◆病気などで学校を休まなければならない日の対応。病児保育のあるところまで遠く…大変。もっと近所にあるとうれしいです。
- ◆病児保育が城東方面だけで不便で使えない。
- ◆子どもが急に病気になったりして、仕事を休めないとき、誰も面倒をみてくれる人がなくて心配です。有料で預かり保育はあるようですが、幼児対象が多いようです。せめて小学校（6年生）迄は預かってくれるような所、または病院内にそういった施設があればと思います。例えば、弘前であれば弘前市立病院など。

《子どもとの接し方について：25件》

- ◆育て方、しつけについて、親の感情でしかってしまい、虐待ではないかと悩んでしまうこと。
- ◆中学校の男の子にどう接したらよいかわからなくなるところがある。聞いたことに対して返ってくるのが本当かウソなのかわからないことがある。気軽に相談できるところがあればいいなと思う。
- ◆その日の課題（宿題等）を早めに促すが、面倒くさがりなかなか取り組もうとしない。優しく声がけするが動かず、夜遅くなってから、ようやくやり始める始末なので毎日怒られながらやっている有様なので、どのようにしたらよいか、毎日困っている。
- ◆子どもが思春期を迎え、何を考えているのか全くわからず、不安や恐怖を感じることもあり、どうしたらよいか困っている。
- ◆子どもが思春期を迎え、以前と比べて会話が少なくなり、とまどうことがあったりします。

《家族・パートナーの協力・理解について：22件》

- ◆親の世代と祖父母の世代で考え方が違って、理解してもらえず同居が苦痛に感じてしまう。
- ◆子育てに関して家族の協力が無い。主人が子どもの世話をしてくれない。
- ◆旦那が単身赴任中で旦那の家族は協力してくれないため一人で子育てしていること。
- ◆子育てに関して、家族の協力がなく、子育てをひとりで抱え込んでいる。

《子どもの成長発達について：21件》

- ◆子どもの成長発達について不安がある。理由：周囲の子どもたちと比較してしまい、劣っているのでは？と不安になる（勉強、しつけ、成績、友達との付き合い方等）。
- ◆子どもの成長、発達について不安があります。相談窓口はありますが、療育などの実質的支援があると助かります。
- ◆子どもの発達について不安があるので‘ことばの教室’の利用方法などわかりやすく公開してほしい。

《幼稚園・保育所・保育園について：19件》

- ◆弘前市は比較的、保育園に入りやすいので不安は少ないですが、本当に希望のところに入園できるか心配な面はあります。
- ◆兄弟が産まれるたびに、上の子どもと同じ保育所に入所できないかも…という可能性があること。休日、延長を行っている保育園は人気があるので、申し込みに行くといつも難しいと言われます。希望する保育所に入所できるという安心感があれば、安心して仕事をしていても出産に臨めます。

- ◆現在、仕事をしているのですが、土日仕事なので日曜日も保育園を利用したいです。今行っている保育園は、日、祝日が休みなので、日、祝日だけ別の遠い保育園に預けてます。出来れば、日、祝日も保育園をやって欲しいです。
- ◆市内の保育園に4年間入っていましたが、親同士の交流が1度もなかった。途中で違う保育園に変えるか悩みましたが、子どもが友達と別れるのがイヤだということでそのまま続けました。親としてはムダな4年間でした。ちなみに参観日もありませんでした。プール参観はありましたが…見て帰るだけでした。
- ◆保育園は基本的に親が仕事をしている人が子どもを預ける場所なのですが、今はなかなか仕事が見つからない時代なので、親が就労していなくても、待機児童や保育料を滞納するなどの問題がなければ、通えるようにしてほしいと思います。(今の弘前市では、保育に欠ける理由がなければ通わせられないから) 保育園に通っていないと、就職活動や就職がすぐにできないから。

《仕事・雇用環境について：19件》

- ◆職場での男女差別が根本的に残っており、特に子どものいる女性への対応は冷たすぎる。子どもの病気に伴う急な休み等は言いにくい場合が多い。
- ◆この先、高校または大学を卒業しても仕事があるのか。今から子どもたちが不安、悩んでいる。希望、先がみえないと言っている。

《相談・窓口体制について：16件》

- ◆子どもを育てる上で、はじめてのことがたくさんあったので、市の助産師さんが訪問してくれて、とても助かりました。いろいろ不安を抱えている人も多いと思うので、そういう機会、回数を増やし、対応して欲しい。また、ベビー相談は2ヶ月に1回だが、1ヶ月に1回など増やしてほしいと思います。また、子どもを産む前の、事前の相談がもっと必要であると感じます。
- ◆中学校3年の男子がいます。以前、子どもがいじめに合い、不登校になりました。子どもはもちろんですが、親もどこに誰に相談したらいいのかわからず、つらい時期がありました。年に1、2回子どもの悩み相談窓口のような電話番号が書かれたチラシやカードを持ってきますが、あまり役立っているとは思えません。実際、いじめが原因の不登校とわかって、学校の対応が決して早かったとは思われず、そのような時、子どもや親がすぐ相談に乗ってもらえるところが近くにはなく、市内にある学習センターに相談に行きました(しばらくたってから)。しかし、子どもを通わせるにあたっては、仕事の都合もあり、送迎は毎回不可能だし、子どもだけでというのも不安があり、市内に1ヶ所だけというのは少ないと思いました。
- ◆転勤族のため、そばに祖父母がいない。主人も朝から夜遅くまでの勤務で土日も不在がち。そんな中で今自分が倒れたらこの子は…という緊張のなかで2年近く子育てをしてきました。第2子がほしいが、自分に何かあったとき、子どもの面倒をみってくれる人がいないのが、とても不安で。すぐに連絡がとれるベビーシッターとのネットワークがもっと充実していれば、と思います。

《子育て支援関係の情報不足について：11件》

- ◆保育所へ入園を考えたとき、資料が少なく、選ぶのに苦労した。できれば一冊にまとめて配布して欲しいと思った。
- ◆もっと市で子育てに関する情報を手紙などで通知するなどしてもらいたい。
- ◆子育て支援員、子育てセンターの活動、働きがよく見えないことが課題なのではないか。市民の皆さんはご存知なのでしょうか。
- ◆子どもの発達やその他、心配事などもっと気軽に相談できる場所がほしい。あるのかもしれないが、どこにどう相談をもっていけばよいのかわからない。
- ◆転入時に子育て情報に関するアドバイスが無かった。自分で調べないと幼稚園の親子登園やバザーなどの情報が得られない。
- ◆自分の子が通っている学校の情報だけでなく他校の情報も知りたい。
- ◆‘子どもを育てる’という親の持つ共通の目的に、どのサービスのどの施設を活用すればいいのかわからない。
- ◆初めての出産だとわからないことが多すぎてマニュアル通りにはいかないというのわかるけど、こういう時はこうすればいいとかもっと、詳しくわかるものがあればいい。

《育児ストレスについて：8件》

- ◆現在、生後3か月の娘がいます。夕泣きが激しくなり、朝から晩までつきっきりでないといけない為ストレスがたまります。週に1度くらい気軽に預かる場所ができれば幸いです。
- ◆家庭で自分が望む協力が得られない。主人や世の中では、働きながら育児をする人ばかりをほめる。私は今、専業主婦で四六時中育児と正面から向き合っているけど、かなり大変です。しかし、大変さはほとんど人にわかってもらえないようです。やりたいことを勉強したくて一時預かりを週2回ほど利用しはじめましたが、かなり楽です。

《地域子育て支援センターについて：7件》

- ◆子育て支援センターの充実をお願いしたい。例：支援員の確保、駐車場の充実、行事など。家に親と子がこもらないような工夫。
- ◆支援センター等も弘前市は充実しており、1人で子育てというよりは、ママ友達をたくさん作り、一緒に子育てを楽しむ環境であります。私は毎日のように元さくら保育園の子育て支援センターを利用していますが、駐車場がないため、どうか検討していただきたいです。先生もとても素晴らしい方々なので、駐車場さえあれば、たくさんの友達を紹介したいのに。
- ◆もっと支援センターを町中に増やしてほしい→気軽に遊ばせたい。

《住環境について：5件》

- ◆住居の広さが十分でない。
- ◆市内から遠いので交通に不便で図書館など、市の施設など利用できない。

《子育てインフラ・バリアフリーについて：5件》

- ◆街灯が少ない場所があり、子どもは危険である。道路が狭く子どもが危険である。
- ◆子どもを連れて行ける（行きやすい）お店が少ないような気がします。オムツ替えシートが無かったり、段差や通路幅の問題でベビーカーが通りにくいなど…行けるお店が限られてしまう。
- ◆融雪歩道がもっと整備されるとうれしい。店の入り口に段差があるところが多い。ベビーカーでも入りやすいようにスロープを完備して欲しい。
- ◆ベビーカーでの散歩が大変（歩道の設備、自転車、車のマナー）どこへ行っても子ども連れは嫌がられる雰囲気。

《医療機関について：5件》

- ◆小児科医、産婦人科医の減少で、弘前市内でも子どもを産み、育てるのが難しくなるのではないかと不安を感じる。
- ◆病院（小児科）がとても混んでいるので改善して欲しい。

《その他：10件》

- ◆情緒障がいをもっている子がいるのでこれから、中学・高校と先を考えると不安。障がいの的には軽いですが、心配でフルの仕事につくことができず、金銭面でも大変です。軽い障がいの為補助などうけることができない！
- ◆わが家にはADHD（注意欠陥・多動性障がい）の子どもがいます。現在大成小学校のADHD 通級指導に無料で通わせて頂き大変助かっています。障がいをもつ子の自立を支援するシステムに今後とも力を入れて頂ければ、嬉しく思います。障がいの有る無しに関わらず、子どもたちが成長したときに地元でも就職して安心して生活できる生活環境にしてもらいたいです。
- ◆高校に通うバス（特に冬場）がないので不便です。
- ◆子どものネットや携帯電話のかかわり方。

5 弘前市世論調査～Smile 弘前子育てマスタープラン策定にあたって～結果概要

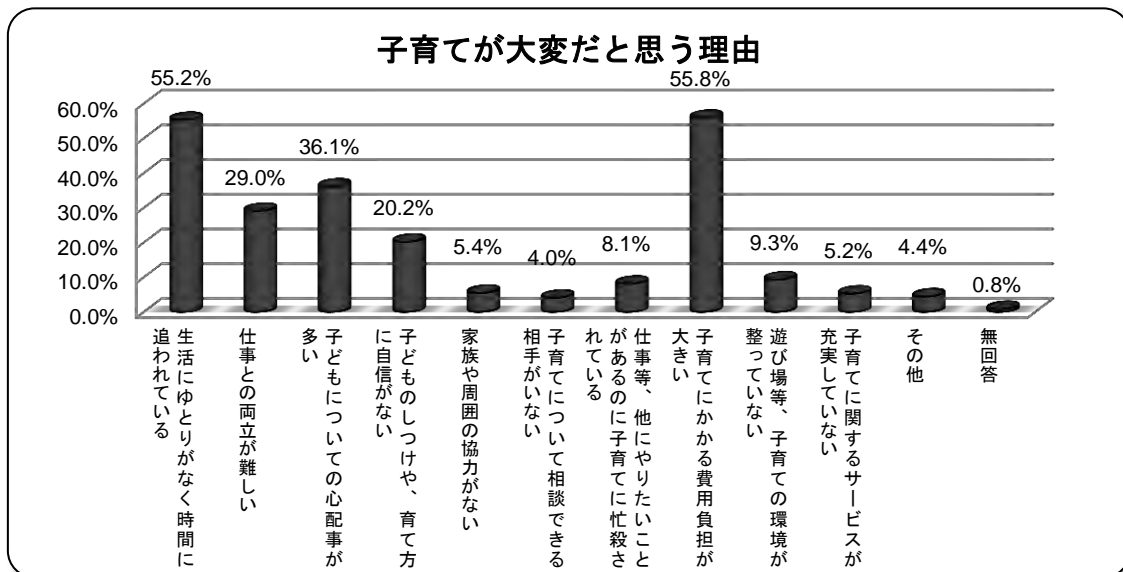
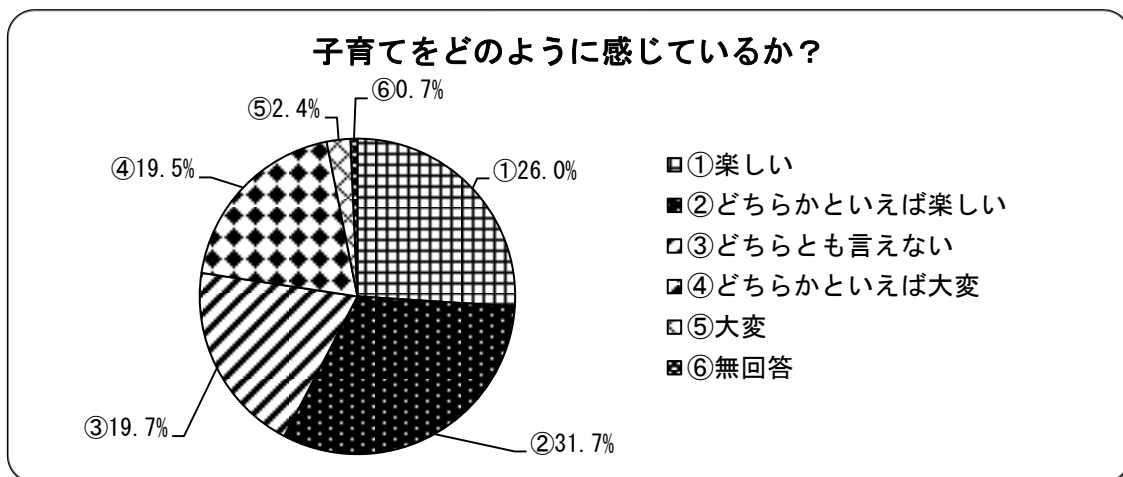
《調査結果概要》

今回の世論調査は、0歳～18歳の子を持つ親を対象とし、子育てにかかる課題・ニーズ等の全体的な傾向を把握するために実施しましたが、ここでは、今回の調査により明らかとなった傾向・市民意識についてまとめています。

〇子育てをどのように感じているか

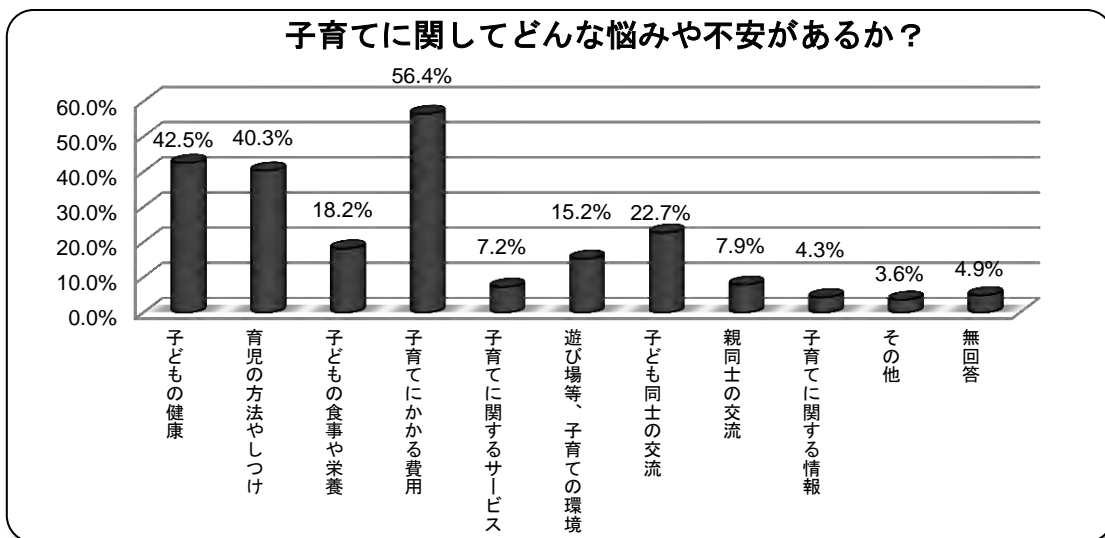
全体的な傾向としては、子育てが楽しいと感じる傾向が強くなっていますが、子どもの学年が上がるにつれ、徐々に大変だと感じる傾向が強くなってきます（楽しい/どちらかといえば楽しい⇒57.7%、大変/どちらかといえば大変⇒21.9%）。

子育てが大変だと思う主な理由については、子育てにかかる費用負担が大きいこと、生活にゆとりがなく時間に追われていること、子どもについて心配事が多いことが特に高い割合となっています。



○子育てに対する悩みや不安はあるか

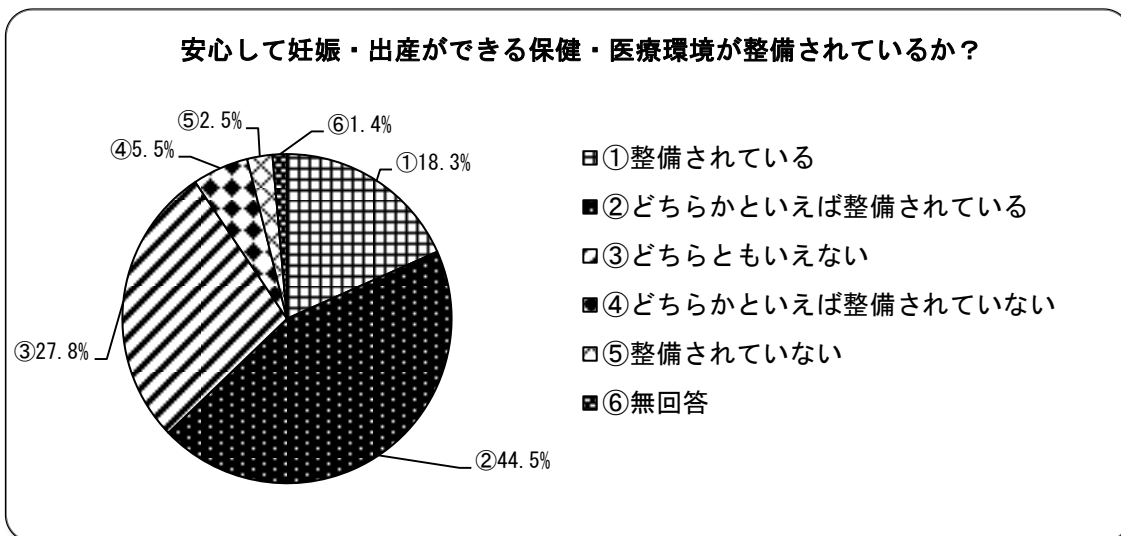
全体的な傾向としては、未就学児童を持つ親の方が、多くの悩みや不安を抱える傾向があります。その中では、育児の方法やしつけ、子育てにかかる費用負担、子どもの健康についての悩み・不安の割合が高くなっています。また、子育てにかかる費用については、子どもの学年が上がるにつれ不安が増してくる傾向にあります。



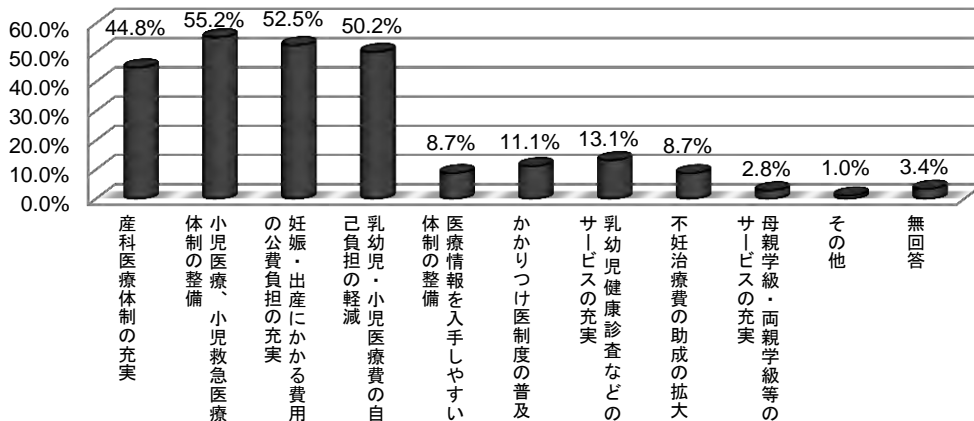
○安心して妊娠・出産ができる保健・医療環境について

全体的な傾向としては、安心して妊娠・出産ができる保健・医療環境が整備されていると感じている傾向が強くなっています（整備されている/どちらかといえば整備されている⇒62.8%、整備されていない/どちらかといえば整備されていない⇒8.0%）。

また、この環境を整備する上で重要なこととして、小児医療、小児救急医療体制を整備すること、妊娠・出産にかかる費用の公費負担の充実、乳幼児・小児医療費の自己負担の軽減、産科医療体制の充実を求める割合が高くなっています。



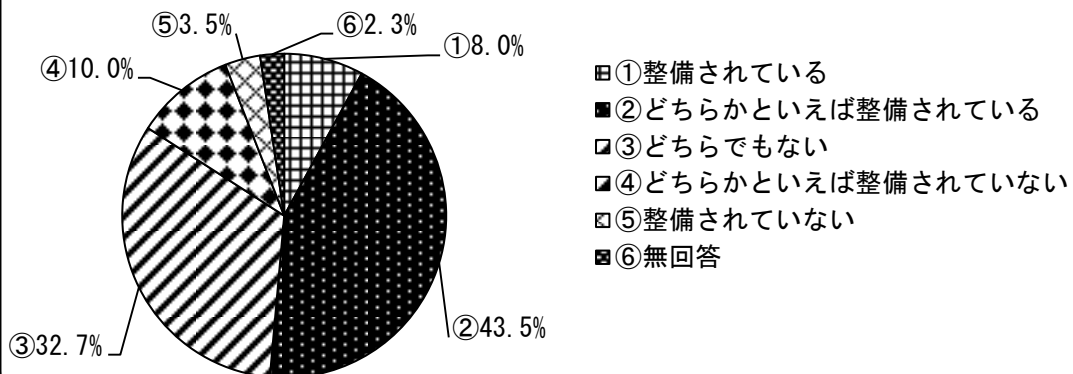
安心して妊娠・出産ができる保健・医療環境を整備する上で重要なこと



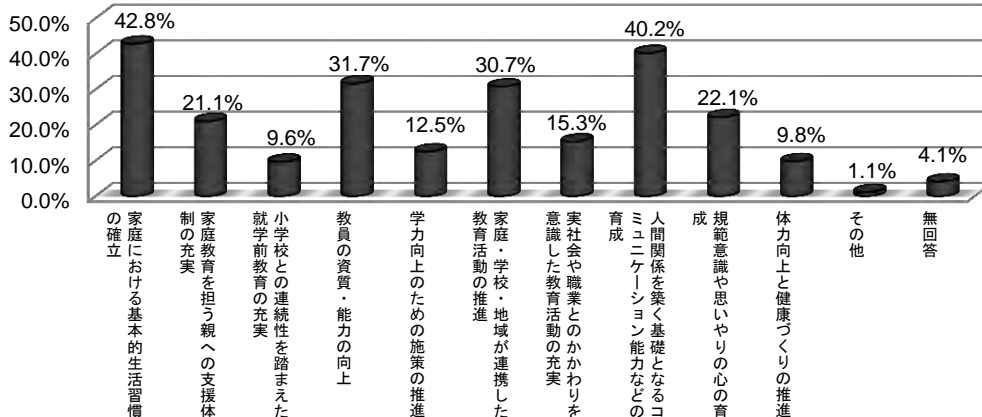
○家庭・学校・地域における教育環境について

全体的な傾向としては、家庭・学校・地域における教育環境は整備されていると感じている傾向が強くなっています（整備されている/どちらかといえば整備されている⇒51.5%、整備されていない/どちらかといえば整備されていない⇒13.5%）。

学校・家庭・地域における教育環境は整備されているか？



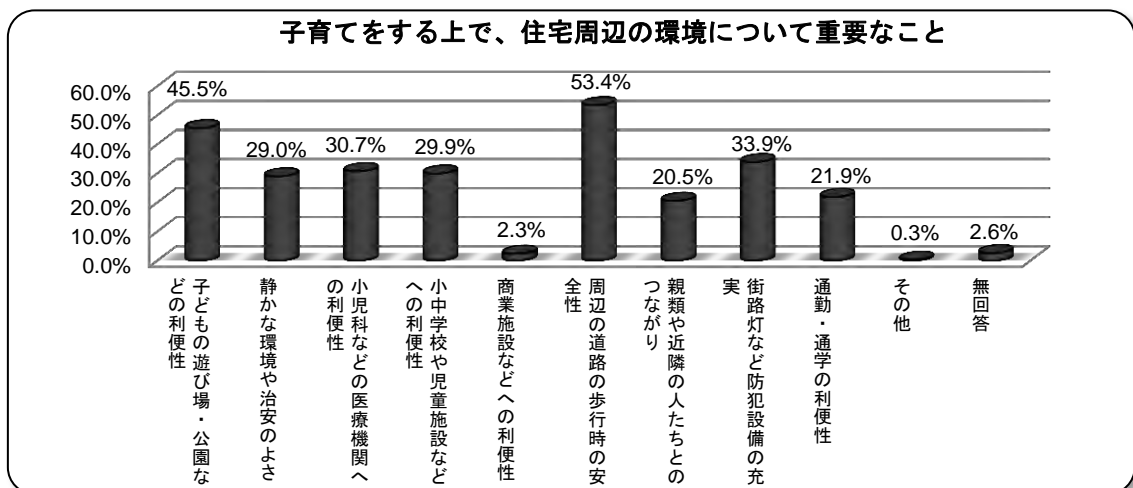
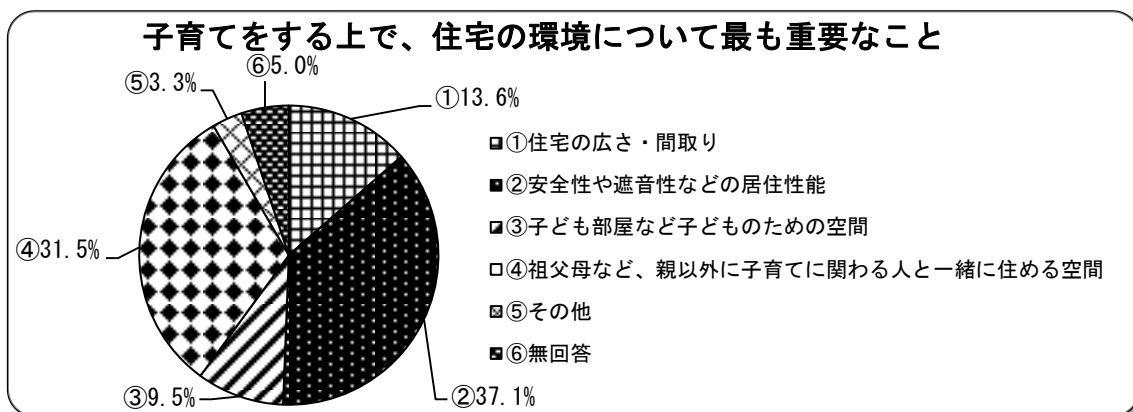
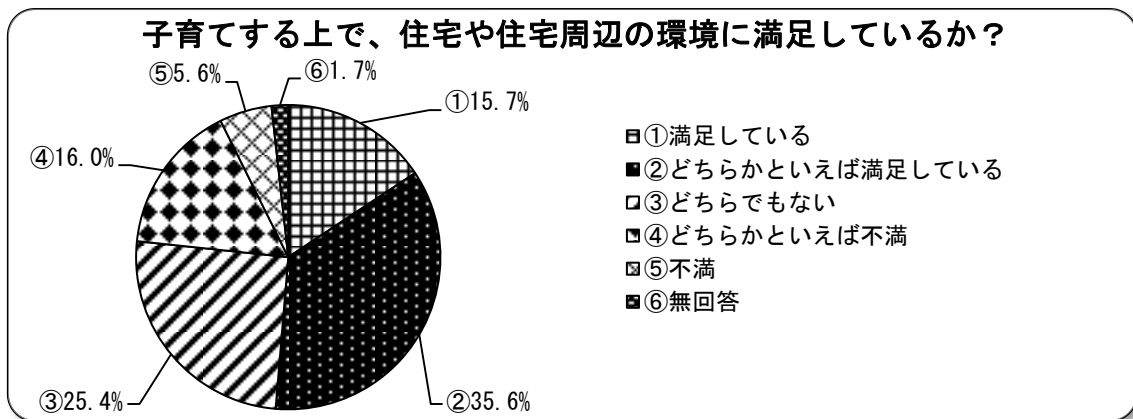
家庭・学校・地域における教育環境を整備する上で、重要なこと



〇子育てをする上での住宅や住宅周辺の環境について

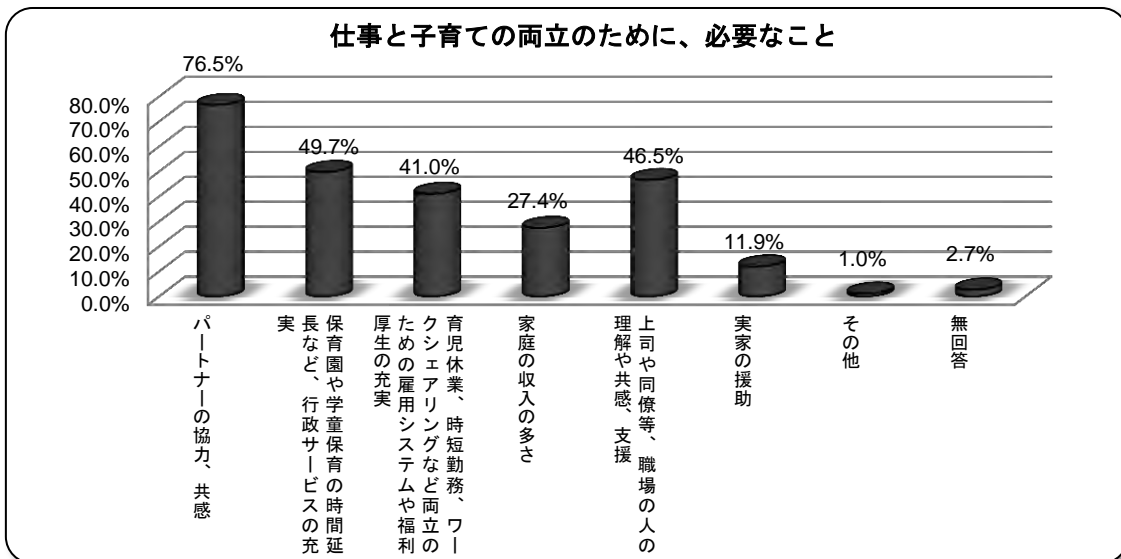
全体的な傾向としては、住宅や住宅周辺の環境に満足していると感じている傾向が強くなっています（満足/どちらかといえば満足⇒51.3%、不満/どちらかといえば不満⇒21.6%）。

また、子育てをする上で重視する住宅の環境については、世帯構成や居住地域（市街地域・農村地域）によって傾向が分かれており、市街地域及び2世代（親と子）同居の場合は、安全性や遮音性などの居住性能、住宅の広さ・間取りを重視する一方、農村地域及び三世帯（親、子、孫）同居の場合は、祖父母など、親以外に子育てに関わる人と一緒に住める空間を重視する傾向にあります。



〇仕事と子育ての両立支援について

全体的な傾向としては、仕事と子育ての両立のために必要なものとして、パートナーの協力・共感、保育園や学童保育の時間延長などの行政サービス、上司や同僚等、職場の人の理解や共感・支援、育児休業・時短勤務・ワークシェアリングなど両立のための雇用システムや福利厚生の充実が特に高い割合となっています。

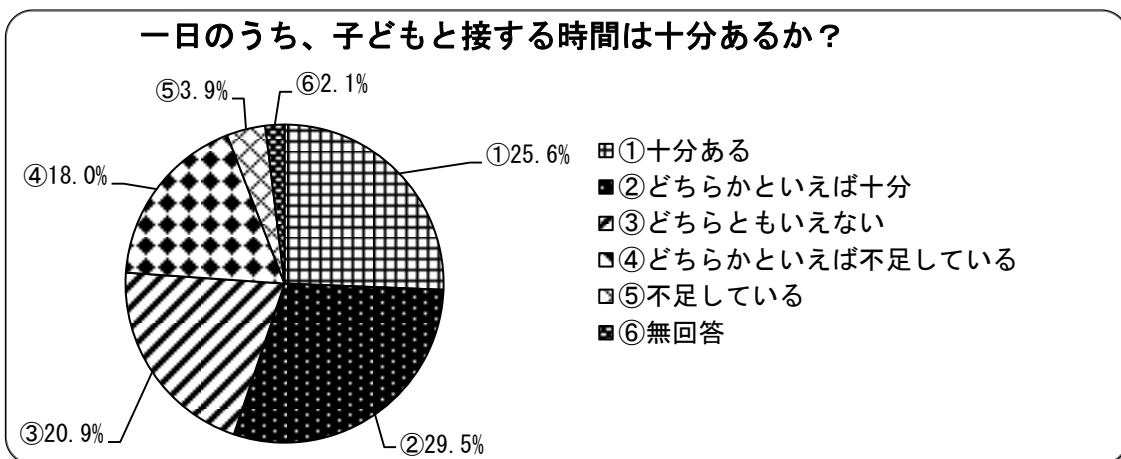


〇子どもと接する時間について

全体的な傾向としては、子どもと接する時間は十分あると感じている傾向が強くなっています(十分/どちらかといえは十分⇒55.1%、不足/どちらかといえは不足⇒21.9%)。

しかし、職業、祝日・日曜日の就労状況により、傾向が逆転し、フルタイム労働者や祝日・日曜日にいつも働いている場合は、子どもと接する時間が不足していると感じている傾向が強くなっています。

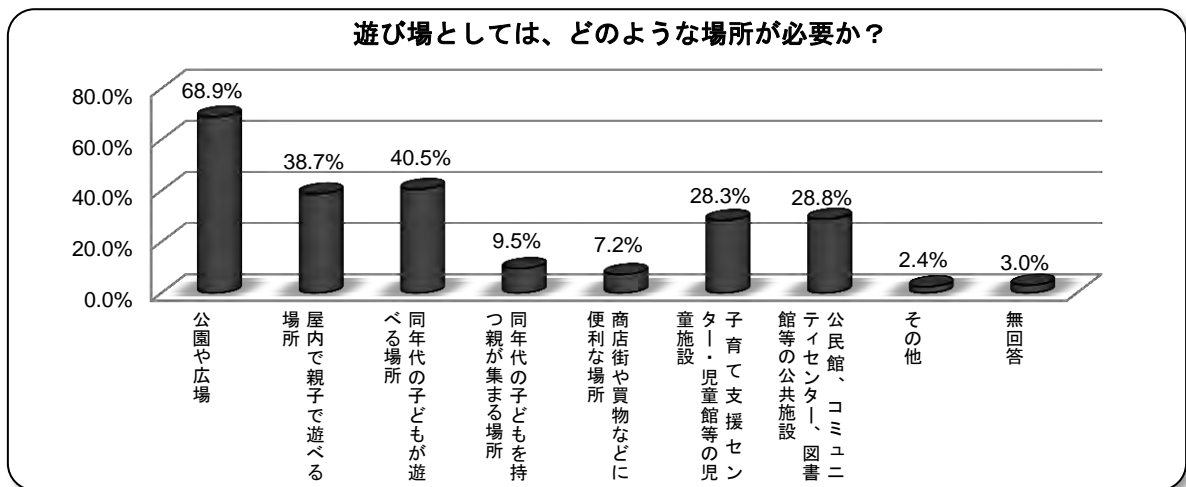
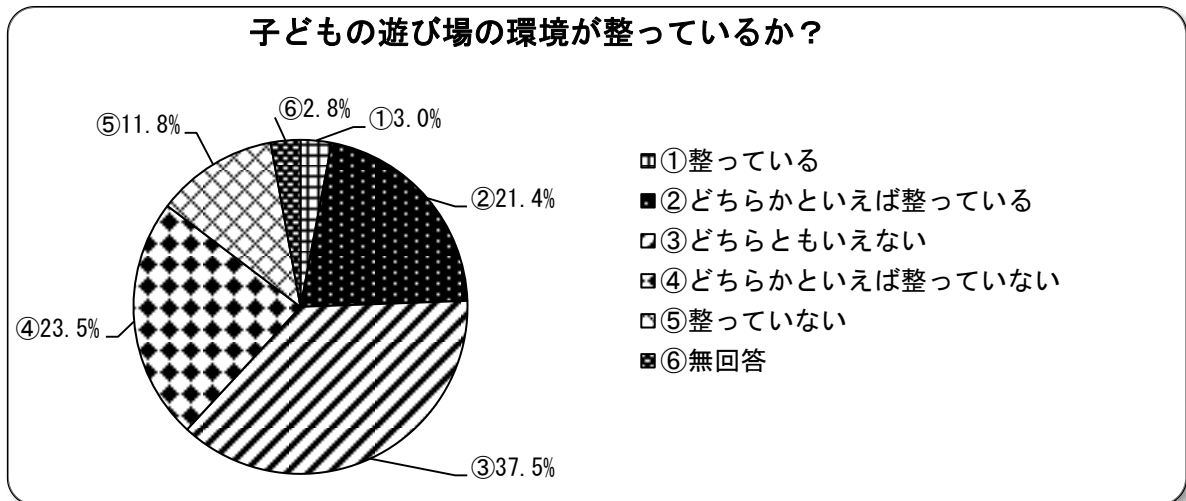
また、性別でみると女性(母親)より男性(父親)の方が子どもと接する時間が不足していると感じる傾向が強くなっています。



○子どもの遊び場について

全体的な傾向としては、子どもの遊び場の環境が整っていないと感じている傾向が強くなっています（整っている/どちらかといえば整っている⇒24.4%、整っていない/どちらかといえば整っていない⇒35.3%）。

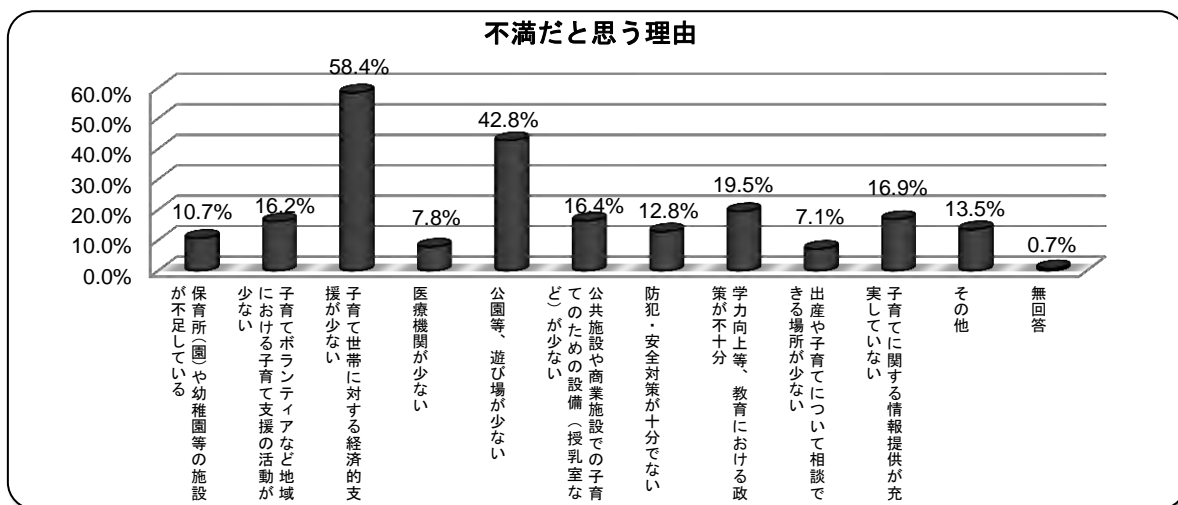
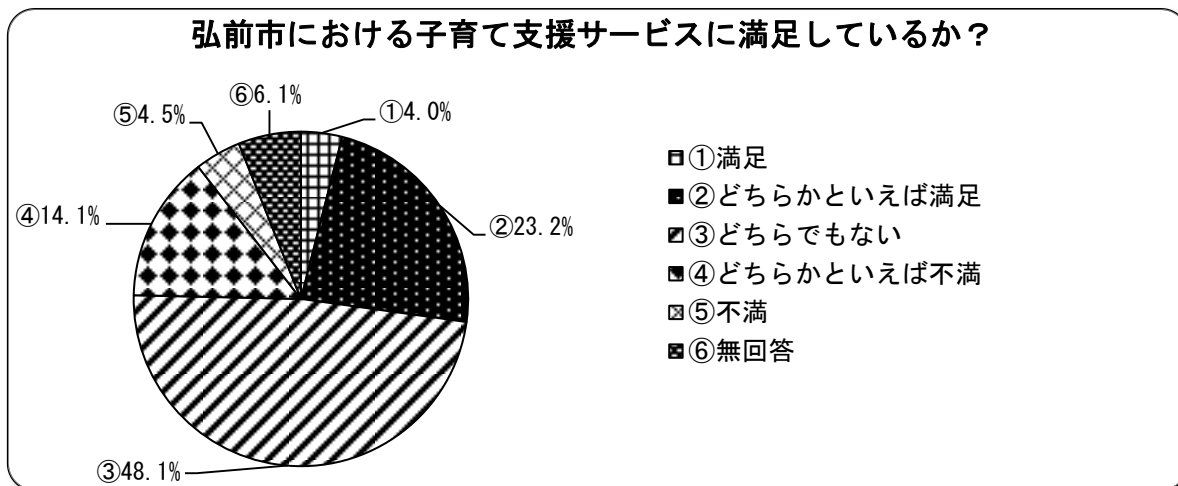
必要とする子どもの遊び場としては、公園や広場、同年代の子どもが遊べる場所、屋内で親子で遊べる場所が特に高い割合となっています。



○弘前市における子育て支援サービスについて

全体的な傾向としては、満足と感じている人が不満と感じている人を上回りましたが、満足でも不満でもないと感じている人の割合が最も高くなっています（満足/どちらかといえば満足/どちらでもない/どちらかといえば不満/不満/無回答⇒27.2%、不満/どちらかといえば不満⇒18.6%、どちらでもない⇒48.1%）。

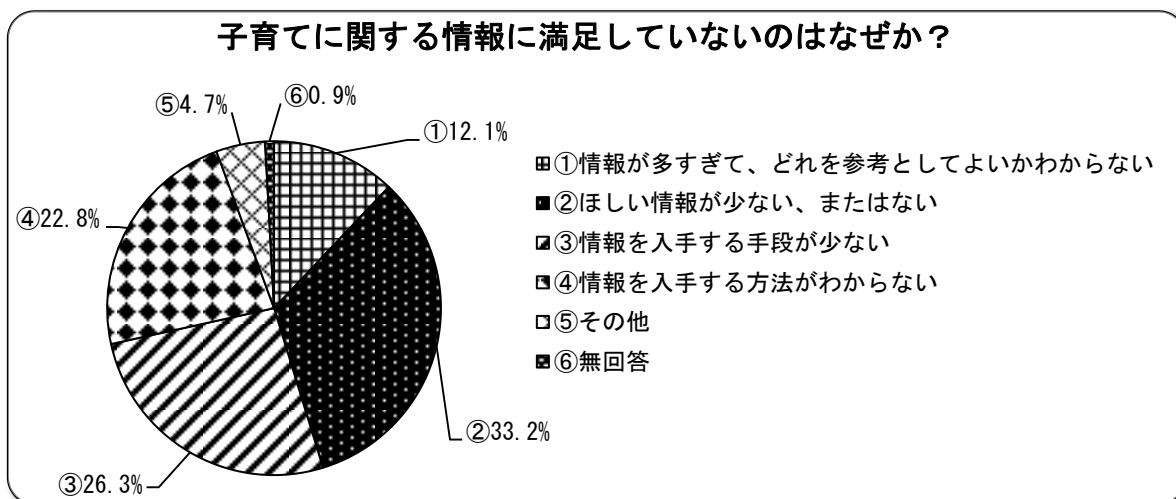
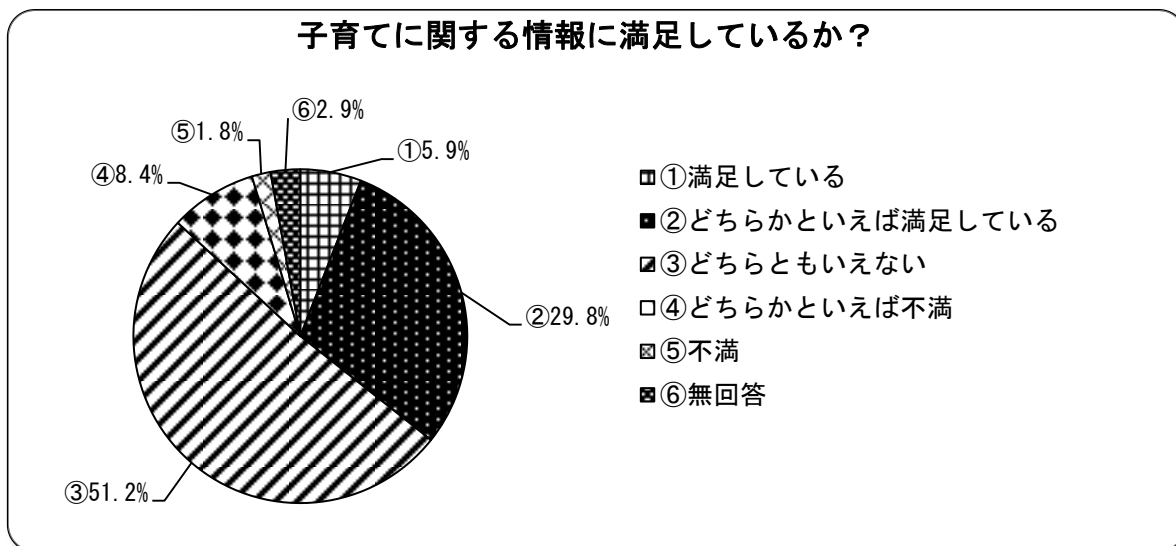
不満と思う理由としては、子育て世帯に対する経済的支援が少ないこと、公園等遊び場が少ないことが大半を占めています。



○子育てに関する情報について

全体的な傾向としては、満足と感じている人が不満と感じている人を上回りましたが、満足でも不満でもないと感じている人の割合が最も高くなっています（満足/どちらかといえば満足⇒35.7%、不満/どちらかといえば不満⇒10.2%、どちらでもない⇒51.2%）。

また、必要とする子育てに関する情報としては、子育てに関する公共サービスの情報、子どもや親が行ける遊び場情報、子どもに関するイベント情報が特に高い割合となっています。



6 Smile 弘前子育てマスタープラン【概念図】

Smile弘前子育てマスタープラン【概念図】

子どもみんなが「まっすぐ」でしながる、笑顔あふれるこころなみ

子どもを産みたい、育てたいが叶う、喜びあふれるこころなみ

